

講演会のご案内

日本アート評価保存協会では、若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様を講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。一般の方もご参加いただけます。

2018年

3月20日(火) ■ 17時～ 展覧会
■ 18時～ スペシャルトーク

マゴクリエーション株式会社
代表取締役CEO

長坂 真護 氏



美術は人を救うためにある、 ガーナのスラム街を訪れて。

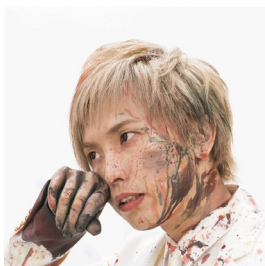
十年前、世界各国の路上で絵を描き続けました。そこで得たものは、応援の声や、時には絵を買ってくださった通りすがりのギャラリーの皆さんの無償の愛。しかし同時に世界には日本では考えられないほどの紛争、人種差別、経済格差、奴隷制度、環境汚染などの問題が山積みだということに気づいたのです。そんな中訪れたアフリカ、ガーナにある、死に汚染された街「アグボクブロシー」。そこは日本を含む先進国のために働く、スラム街のアフリカ人がいました。週6、1日12時間働いて500円ほどの日当で働き続け、おまけに癌になって死んでしまう、スラム街の貧しい人々。僕はそんな不条理に立ち向かうべく、平和や環境問題をARTの力で変えることを決意。

「美術は人を救うためにある。」

みんなに頂いた無償の愛の恩返しを、僕のARTでガーナのスラム街に捧げます。

長坂 真護 (ナガサカ・マゴ)

【略歴】



世界14か国で芸術活動を行う。2016年9月1日、FlagsとMAGOがコラボしFlags VisionでのCM放送開始。同月、服飾ブランド「HEMD by MAGO」を開始。12月新宿フラッグスにて「世界が一つになれる夜」をテーマに世界平和のクリスマスアートを発表。翌年2017年ハリウッド、オスカー賞の前夜祭 2017 Oscar VIP Gift Loungeに出展、日本人初となるライブアートを披露。同年5月には

LAのトヨタ美術館で展示会を開き「芸術で世界平和と環境保全の創造をする」と公言。そして翌月アフリカ、ガーナにある世界の電子機器の墓場、死に汚染されたスラム街「アグボクブロシー」を訪問。その現地の廃棄物を再利用した環境保全を目的とした芸術作品「WE ARE THE SAME」発表。自分の芸術は何人を救えるのか?と、「世界平和と環境保全の創造」をスローガンに掲げ、今もなお日本のみならず世界各地で講演や作品展を行う。

申込方法

事務局まで直接お問合わせ下さい。

(メール) info@ja2pa.or.jp

(電話) 03-3569-1250

※電話受付時間 平日 10:00~18:00

聴講料

500円 ※要申込み

会場

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階

〒100-0006

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階

TEL 03-3569-1250 FAX 03-3569-1251 info@ja2pa.or.jp <http://ja2pa.or.jp>



一般社団法人 **日本アート評価保存協会**